



そすいの郷

第354号
2024年（令和6年）
1月20日 編集・発行
西地区コミュニティ運営委員会
広報編集部会

（今年も三区町の田んぼにハクチョウが来ています。この日（1/7）は、40羽位いました。）

令和6年 烏ヶ森からの「初日の出」



烏ヶ森の東斜面には、毎年多くの人々が訪れ「初日の出」を迎えます。今年も7時少し前には太陽が昇り始めました。手を合わせる人、歓声をあげる人、シャッターを切る人。皆さん「初日の出」を堪能している様子。一段落したところで、烏森神社へ初詣に向かう人の列ができました。

烏ヶ森周辺では新しい道路などの工事が行われています。初詣を済ませた後、一回りしてみました。

新しい歩道橋をつくっています ～ 令和6年3月29日まで ～

烏ヶ森の南東端を貫く国道4号バイパス工事が進行中です。ここに新しくできる歩道橋、烏森神社への参道のようなのですが、どんな橋が架かるのでしょうか。

宇都宮国道事務所の発注ですが、週休2日モデル工事との看板も設置されていました。



木道を新設しています。 ～ 令和6年3月11日まで ～

烏ヶ森公園の池に設置されていた木道の架け替え（新設）工事が、市の施設整備事業として行われています。

新しい木道には、手すりも付くようです。4月には、池からの花見も楽しめるかな。



大雨時の浸水を防ぐため 浸透池を整備します。 ～ 令和6年5月22日まで ～

国道4号バイパス工事と並行して、片側2車線の県道400号の工事も進められています。写真は西小学校前通りを北上した、信号機のある西赤田の交差点です。

現在、浸透池の整備工事が行われていますが、この交差点には、横断歩道橋が設置されるということです。



県道400号に設置済歩道橋の名称は「大山歩道橋・太夫塚歩道橋・西三島にじいろ歩道橋」となっています。また、国道4号のバイパス工事に伴い新設された歩道橋の名称は「東三島拓魂歩道橋・三島にここ歩道橋・三島さんさん歩道橋」です。果たして、西赤田に新設される歩道橋の名称は？

令和6年、初日の出も見られ平穏なスタートと思いましたが、1日午後4時過ぎ、震度7の能登半島地震があり、2日夕方には羽田空港で日航機、海保機衝突炎上事故と、テレビでは現場からの中継が続くなど、暗いニュースでの新年スタートとなりました。今年は辰年。過去の辰年には大きな出来事も多く、動乱の年ともいわれているようですが、明るい話題の多い、平穏な1年であって欲しいものです。

投稿

LRTに体験乗車（Let's ウォーク 倶楽部）

那須野が原公園（第1木曜日）と烏ヶ森公園（第3木曜日）で散歩を楽しんでいる「Let's ウォーク 倶楽部」ですが、新聞などでも話題になっているLRT（路面電車）に体験乗車してきました。

12/25（月）9時10分西那須野駅に集合し、26分発の電車で宇都宮駅へ。到着後、昼食場所の下見も兼ねて駅ナカをウォーキング。駅ビル（パセオ）は1階にフードホールができ、イメージが一新された感じです。1階2階3階と見て回った後、宇都宮駅のシンボル？ 30年前のTV番組の企画で制作された餃子像へ。（駅西口では20階建ての複合施設が建設中でした。）

2階の自由通路を渡って駅東口へ。隈研吾建築都市設計事務所がデザインを手掛けた建物の一つウツノミヤテラスへ。こちらでも下見を兼ねウォーキング。エスカレーターで力士像（宇都宮ゆかりの初代横綱明石志賀之助）がある駅前広場に下りたところ、丁度、LRTが到着したので記念撮影。



10時58分発のこのLRTに乗車。乗車時間48分（運賃400円）で終点の芳賀・高根沢工業団地まで。

ベルモール前までは少し混んでいましたが、それ以降はゆっくり車窓を楽しむことができました。

LRTは12分毎に出発なので、帰りは1駅ウォーキングすることに。終点から「かしの杜公園駅」まで歩き、到着時の歩数は、駅の上り下り、駅ナカなども加え5000歩を超えていました。

程なくLRTが到着。帰路につきましたが、鬼怒川にさしかかる頃「男体山～高原山～那須山」と見える風景は中々のものでした。12時半過ぎに宇都宮駅に到着。ここで解散。下見の結果も踏まえ？ それぞれお目当てのお店で昼食となりました。

LRTは3両編成です。運賃は乗車から3kmまでは150円均一、3km～7kmまでは2kmごとに50円加算、7kmから3kmごとに50円加算されます。運賃現金払いの場合、乗車時、ホーム上の整理券発行機より整理券を取り、降車時、先頭車両の運賃箱に運賃と整理券を入れます。交通系ICカードを使う場合は、ドア横のカードリーダー（乗車時下側、降車時上側）にICカードをタッチすればOKです。最後部車両の運賃箱でチャージ（入金）ができるようです。（三区町 肥塚喜弘）

投稿

令和5年度

田んぼの学校終了記念、「わら細工」と「しの笛」作り

四区町環境保全会（辻野岩男代表）の狩込どじょっこ会「田んぼの学校」では、12月10日（日）に、親子・西小学校の先生・協力員・指導員など80名が参加して、今年、田んぼの学校で種まきから田植え、稲刈り、天日干し、脱穀まで体験した稲わらを使った縄ないのやり方「わらから縄へ」の体験と、昔なつかしい「しの笛（ウグイス笛）」を作りました。



狩込どじょっこ会は、米作りについて学び、先人の苦労と文化・水と土と太陽の光に触れ、自然環境を守ることが目的です。

縄ないでは時節がら「しめ縄」を作ってみようと、指導員から、「①ワラくずをとったあと、20本の束を3つ作りひもで結ぶ。②2つの束をそれぞれ右巻きで締めあげて、左巻きで編みあげる。③3つ目の束を右巻きで締めあげながら、左巻きで編み込む」の説明と実演で始まりました。

しめ縄を作るワラは、濡らしたり叩いたりしてはいけないとされています。子供達から「かたくて大変」、「どちらにねじるのか忘れちゃう」などの声が聞こえました。

わら細工としの笛作りを体験してから、参加者は終了記念の写真を渡された後、協力員・指導員に拍手でお礼をしました。

令和6年度の参加者募集は、西小学校を通して4月上旬ころ行う予定です。（四区町 山崎智雄）

